

# ずっと 和太鼓のある世界で 生きてきた

違う道を歩んできた両者が出会い、芸術監督を務めるまでに至った坂東玉三郎と鼓童の歴史、そして挑戦の数々が垣間見える舞台です。普段は聞くことのできない坂東玉三郎ならではの視点で鼓童の見所に迫ります。



## 解説：坂東玉三郎

歌舞伎界の立女形。その深遠な美意識は様々な分野でも発揮され、「ロミオとジュリエット」「海神別荘」などの作品で舞台演出家として高い評価を得る一方、映像作品「外科室」「夢の女」「天守物語」で映画監督としての才能を発揮し、大きな話題となった。2012年～2016年、鼓童の芸術監督に就任。同年9月に、歌舞伎女形として5人目となる重要無形文化財保持者(人間国宝)に認定、また2013年にはフランス芸術文化勲章最高章「コマンドゥール」を受章した。

## 演奏：太鼓芸能集団 鼓童

太鼓を中心とした伝統的な音楽芸能に無限の可能性を見だし、現代への再創造を試みる集団。1981年、ベルリン芸術祭でデビュー。以来49ヶ国で5,800回を超える公演を行う。なかでも、多様な文化や生き方が響き合う「ひとつの地球」をテーマとした「ワン・アース・ツアー」は、世界各地で3,900回を数える。2017年5月、坂東玉三郎との11年ぶりの共演作「幽玄」を発表、9月には福岡、名古屋、京都で公演の予定。

## 坂東玉三郎と鼓童の歩み

2000年、坂東玉三郎は初めて鼓童村を訪問。2003年に鼓童単独の舞台「鼓童ワン・アース・ツアー スペシャル」を演出。

その後、2006年に共演の舞台「アマテラス」を主演・演出。同作は2007年に歌舞伎座で再演、2013年の再々演では東京・福岡・京都で合計67回の全公演がソールドアウト。さらに2009年に初演を行った「打男 DADAN」は、国内各地のみならず、シヤトレ座(フランス・パリ)や、リヨン(フランス)、スペイン、香港、ブラジル、アメリカなど世界各地で公演し好評を博した。そして2012年より4年半の間、芸術監督として招聘、鼓童の舞台創造全体に関わる。就任後は演出として1年に1作品を発表し続け、計5作品を創作した。

写真：岡本隆史 企画制作：北前船

# 鼓童

〒952-0611 新潟県佐渡市小木金田新田 148-1 鼓童村  
Kodo Village, 148-1 Ogi Kanetashinden, Sado, Niigata 952-0611, Japan  
Tel. 0259-86-3630, Fax. 0259-86-3631, Email: heartbeat@kodo.or.jp